

「研究レポート」作成のための調べ学習

那智勝浦町立 勝浦小学校 4年生

平成29年度

国語科における調べ学習の事例

○単元名：本で調べて、ほうこくする文を書こう「わたしの研究レポート」（光村図書4年生下）

○単元の目標

- ・書くことを決めて必要な事柄を調べ、調べて分かったことを明確にして文章を書くことができる。
- ・書いたものを読み返し、必要に応じて修正することができる。
- ・表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を利用して調べることができる。

○指導計画（全15時間）

第一 次	1	教材文を読み、学習の見通しを持つ
	2	これまでの学習を振り返り、学習計画を立てる
第二 次	3	生活の中で不思議に思った出来事や事柄について話し合う
	4	調べることを決める
	5	本を使って調べる（学校図書館活用）
	6	
	7	
	8	調べて分かったことを整理する
	9	
	10	
	11	まとめごとに分けて下書きする
	12	友達と意見の交流をする
	13	報告書を見直す
	14	報告書の仕上げをする
	15	報告書を友達と読み合い、感想を交流する

調べ学習のプロセス

- ・調べることを決め、百科事典（ポプラディア）を使って調べる。
- ・見つけた答えが正しいかどうかを確かめるために、筆者の違う複数の本を読む。
- ・調べたことを「情報カード」にまとめる。

調べ学習の際の児童への指導として

【百科事典では】

- ・百科事典を使用する場合は索引の巻を使うことで効率的に調べられる。
- ・事典の背の部分や小口のつめを目安にページを開き、柱を手掛かりに自分の調べたい言葉を探していく。

情報カード

情報カード	
資料 年 月 日	調べた日 月 日
調べたこと ・重箱 ・引用 ※どちらかに○	
分かったこと 疑問に思ったこと	
出 典	本の分類 題 名 著者名 発行年
	出版社名 調べたページ

【図鑑・科学読み物等を利用する際には】

- ・目次と索引の意味や使い方について扱う
- ・奥付を参考にして出典について明記すること
 - ⇒ 出典明記の理由について説明 … モラルとして・レポートの読者の質疑への対応として…等



学校司書の関わりについて

- ・必要な図書の準備（担任・学校図書館担当者と相談の上）
- ・児童が本を探す際のアドバイス
- ・調べ方が分からない児童への支援

活動を振り返って

良かった点

- ・調べたことを「情報カード」に記すことでレポート形式にまとめる際の基本的な方法を学習することができた。
- ・学校図書館で授業を行ったことにより、課題の発見・解決に向けて必要な資料や情報が得やすく、情報を収集・選択・活用する力の育成につながった。
- ・三者がそれぞれの役割を持って授業に関わることができた。

担任：授業のねらいを明確に持つ。

学校図書館担当者：授業のねらいのために学校図書館がどう活用できるか考え、授業と場（学校図書館）のコーディネートをする。

学校司書：担任や担当者のニーズを聞き、選書や使い方についての指導を行う。



課題として…

- ・今回、近隣校から借りた百科事典を3セット使用した。20人の学級であったが、もう1セットあればより一人当たりの調べられる時間が増えるのではないかな。
 - ⇒ 今後、百科事典を増やすことも含め、町内の別の学校や県立図書館を利用することも視野に入れ検討していく。
- ・調べ学習とレポートを書く活動を組み合わせて行ったため、児童への負担が大きかったかもしれない。引用や要約等、もう少し指導が必要な場面もあったが、難しかった。
 - ⇒ 学校図書館の使い方・調べ方等は別に指導する等の活動を分けることも考えていく。
- ・索引の巻を積極的に使わせることができなかった。
 - ⇒ 百科事典で調べる手順として、「索引の巻」を使うことが効率的であることを授業の中で具体的な事例を使って説明していけるようにする。